



Hewlett Packard
Enterprise

HPE iLO 5 1.43 リリースノート

部品番号: 880725-197
発行: 2019 年 6 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft® および Windows® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Java® および Oracle® は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

Google™ は、Google Inc. の商標です。

Google Chrome™ は、Google Inc. の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

SD は SD-3C の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware® は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

リリースノート

説明

iLO 5 は、HPE ProLiant サーバーおよび Synergy コンピュートモジュールのシステムボードに組み込まれたリモートサーバー管理プロセッサです。iLO では、リモートの場所からサーバーを監視および制御できます。iLO 管理は、サーバーをリモートで構成、更新、監視、および修復するための複数の方法を提供する強力なツールです。iLO (Standard) は、追加コストまたはライセンスなしで Hewlett Packard Enterprise サーバーに事前設定されています。

サーバー管理者の生産性を向上させる機能と追加の新しいセキュリティ機能がライセンス付与されています。詳しくは、<http://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある iLO ライセンスガイドを参照してください。

アップデートの推奨事項

アップデートの推奨事項：推奨

旧バージョン情報

置き換えられるバージョン：1.40

製品

このリリースは、製品 HPE iLO 5 に適用されます。

サポートされるデバイス

このバージョンの iLO 5 ファームウェアは、次のサーバーモデルでサポートされます。

- ・ HPE ProLiant ML30 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML110 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML150 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant ML350 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant BL460c Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL20 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL120 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL160 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL180 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL325 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL360 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL380 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL385 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL560 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant DL580 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL170r Gen10 サーバー

- ・ HPE ProLiant XL190r Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL230k Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL270d Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL420 Gen10 サーバー
- ・ HPE ProLiant XL450 Gen10 サーバー
- ・ HPE Synergy 480 Gen10 コンピュートモジュール
- ・ HPE Synergy 660 Gen10 コンピュートモジュール

オペレーティングシステム

このバージョンの iLO 5 ファームウェアは、次のオペレーティングシステムを搭載するサーバーで検証されました。

- ・ Microsoft Windows Server 2012
- ・ Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ Microsoft Windows Server 2016
- ・ Microsoft Windows Server 2019
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7.6
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP4
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 15
- ・ VMware vSphere 6.7 U1、6.5 U2、6.0 U3

サポートされているブラウザ

iLO 5 は以下のブラウザの最新バージョンをサポートします。

推奨ブラウザ

- ・ Google Chrome モバイルおよびデスクトップ
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Microsoft Edge

Chrome、Firefox、Edge が iLO 5 で最高のパフォーマンスを提供します。

レガシーブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11

ブラウザ要件

iLO Web インターフェイスでは、以下の要件を満たすブラウザが必要です。

- ・ **JavaScript** - iLO Web インターフェイスは、クライアントサイド JavaScript を広範に使用します。

この設定は、すべての Internet Explorer バージョンではデフォルトで無効です。この設定を確認または変更するには、iLO ユーザーガイドを参照してください。

- ・ **Cookies** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- ・ **ポップアップウィンドウ** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。
- ・ **TLS** - iLO の Web インターフェイスにアクセスするには、ブラウザで TLS 1.0 以降を有効にする必要があります。

言語

このリリースでサポートされる言語：

- ・ 英語
- ・ 日本語
- ・ 簡体字中国語

機能強化

次の機能強化は iLO 5 1.43 の一部です。

- ・ 新しいプラットフォームとメモリオプションのサポートを今後発表。
- ・ iLO 専用ネットワークポート構成（ブレード以外のサーバー）の VLAN タギングサポート。
- ・ iLO で自動生成された SNMP EngineID の変更が iLO のリセット時に回避されるように修正。
- ・ Microsoft Windows Server 2019 で正しく報告されるように内蔵リモートサポートサービスイベントを更新。
- ・ 送信される Redfish リソース変更イベントの数を削減。頻繁に変更されるフィールドの監視を解除。
- ・ iLO を BIOS 管理者パスワードによって**ホスト認証が必要が有効**に設定されている場合と同様に iLO が動作しないように更新。

修正点

次の問題が iLO 5 1.43 で解決されました。

- ・ hpilo ドライバーを使用している Linux または VMware ホストで、空きシステムメモリがファームウェアで使用されると OS 例外やメモリ破損が発生する可能性がある。
- ・ 両方が 100 フルデュプレックスに設定されている場合に iLO がスイッチに接続できない。
- ・ `ilorest -d serverlogs --selectlog=IML --clearlog rc 255` コマンドが成功するはずのときに失敗する。
- ・ **電力容量しきい値を超過した場合に誤った IML イベントがログに記録される。**
- ・ **アジア/台北のタイムゾーン設定が北京、重慶、香港、ウルムチ、台北、パースのように表示されるべきである。**
- ・ 追加の内蔵リモートサポートタイプ 1000 イベントが送信される。
- ・ セキュリティの修正：HPESBHF03917

詳しくは、次の Web サイトを参照してください。 <https://support.hpe.com/hpesc/public/home>

問題と回避策

- ・ iLO が高度なセキュリティ状態を使用するように構成されている場合、認証をサポートする Smart コンポーネントが使用できるようになるまで、ファームウェアの更新は iLO の Web インターフェイスから実行するか、iLO RESTful API を介して実行する必要があります。
- ・ USB Ethernet アダプターで iLO サービスポートに接続するには、ASIX Electronics Corporation の AX88772 シリーズチップセットに基づいた USB 2.0 デバイスを使用する必要があります。
Hewlett Packard Enterprise は、Ethernet アダプターに HPE USB（部品番号 Q7Y55A）を使用することをおすすめします。
- ・ この機能をサポートしないサーバーで iLO サービスポートのページが表示されます。
- ・ サーバープラットフォームサービス (SPS) ファームウェアまたはイノベーションエンジン (IE) ファームウェアを更新する際は、サーバーの電源を切る必要があります。サーバーの電源を切った後、30 秒待ってから SPS または IE ファームウェアの更新を開始してください。
- ・ iLO 5 のリリースでは、iLO Web インターフェイスの機能のいくつかが、RIBCL または CLI でサポートされていません。特に、iLO セキュリティ状態を設定したり、拡張されたユーザー権限を構成したりする場合、Hewlett Packard Enterprise では、代わりに iLO RESTful API の使用をおすすめします。
iLO RESTful API は、Gen10 およびそれ以降のシステム用の、優先プログラムインターフェイスです。優先 CLI およびスクリプティングツールは、RESTful インターフェイスツール (iLOREST) です。
- ・ iLO 5 1.20 以降の SNMP 設定は、iLO ファームウェアの旧バージョンとの下位互換性はありません。ファームウェアを旧バージョンにダウングレードすると、SNMP の設定は破棄されます。
- ・ iLO Web インターフェイスセッションを開始して HTML5 内蔵リモートコンソールを起動すると、これらのインターフェイスは 1 つの iLO セッションと見なされます。この動作は、iLO Web インターフェイスとは別のセッションである .NET IRC および Java IRC とは異なります。
アイドル接続タイムアウトでは、ユーザーの操作がないまま経過し、自動的に終了するまでの時間を指定します。仮想メディアの操作 (OS のインストールなど) を開始し、アイドル接続タイムアウトに達した場合、HTML5 IRC および iLO の Web インターフェイスが自動的に終了し、仮想メディアの動作が中断されます。
この問題を避けるには、アイドル接続タイムアウトを大きな値に設定するか、他のリモートコンソールを使用するか、または仮想メディアの動作中にセッションがアイドル状態になっていないことを確認します。

前提条件

iLO ユーティリティ

最適なパフォーマンスを実現するために、Hewlett Packard Enterprise では次のバージョンの iLO ユーティリティをおすすめします。

ユーティリティ	バージョン
RESTful インターフェイスツール (iLOREST)	2.3 以降
HPQLOCFG	5.2 以降

表は続く

ユーティリティ	バージョン
Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドル	5.10.0 以降
Windows 用 HPONCFG	5.3.0 以降
Linux 用 HPONCFG	5.4.0 以降
LOCFG.PL ¹	5.10.0 以降
HPLOMIG	5.2.0 以降

¹ Lights-Out XML スクリプティングサンプルバンドルで入手できます。

ライセンス

一部の機能は、iLO ライセンスパッケージに含まれます。iLO ライセンスについて詳しくは、Web サイト <http://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある HPE iLO ライセンスガイドを参照してください。

セキュリティに関するベストプラクティス

セキュリティのベストプラクティスに関する最新情報は、Web サイト <http://www.hpe.com/support/ilo-docs> にある HPE Integrated Lights-Out セキュリティテクノロジー概要を参照してください。

インストール手順

インストール手順については、次のドキュメントを参照してください。

HPE iLO 5 ユーザーガイド

部品番号 : 880740-196

版数 : 1

関連情報

iLO 5 の最新ドキュメントは <http://www.hpe.com/support/ilo-docs> で入手できます。

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。